

各 部 報 告

一 般報告に就ては、委員長の挨拶に含められたるを以て省略し、以下各部の報告とす
すこ左の如し

組 織 部

日本の組織労働者数

内務省社会局の調査によれば、昭和八年六月末日に於ける日本の労働組合員総数は三十六萬八千四百七人で、ソレが九百四箇の組合に分れてゐる。
 二七を前期に於ける日本の労働者總数四百八十八萬一千九百五十九人（内女、百五十一萬八千四百三十三人）に對する組織率は七・五%とびるのである。
 更に大正十二年末より昭和七年末に至る十年間の労働組合員数を示せば左の如くなるのである。

年 次	組 合 数	組 合 員 数	組 合 員 率
大正十二年	四三二	一、二五五、五一	三・二%
同 十三年	四六九	一、二八、二七八	五・三%
同 十四年	四五七	二、五四、二六二	五・七%
同 十五年	四八八	二、八四、七三九	六・一%
昭 和 二 年	五〇五	三、〇九、四九三	六・六%
同 三 年	五〇一	三、〇八、九〇〇	六・四%
同 四 年	六三〇	三、三〇、九八五	六・八%
同 五 年	七一一	三、五四、三一一	七・五%
同 六 年	八一八	三、六八、九七五	七・九%
同 七 年	九三二	三、七七、六二五	七・八%

右表によれば、日本の労働組合員数は、經濟不況に當面し、或は反動時代に棒さし乍ら、よく漸増の一路を辿つてゐるが、それは日本の労働組合運動の方針が正しいからではなく、外國に比べて日本の労働組合員の絶対数量が甚だ少いからである。

殊に昭和五年以來は一進一退の状態で、八年六月現在は、昭和六年末とほぼ同数で